

ふじみ野市防犯白書

(ふじみ野市防犯推進計画)

ふじみ野市

令和5年5月

ふじみ野市防犯白書目次

I 犯罪動向と自主防犯活動

1 全国及び県内の犯罪動向	1
2 ふじみ野市の犯罪動向	1
3 ふじみ野市の罪種別の犯罪動向	
(1) 部品ねらい発生状況	3
(2) 自転車盗発生状況	3
(3) 振り込め詐欺発生状況	4
(4) 子供に対する声かけ事案	7
4 自主防犯活動の状況	
(1) 全国と県内の自主防犯活動団体数	9
(2) ふじみ野市の自主防犯団体	10
(3) 自主防犯団体活動について	11

II ふじみ野市の令和4年度防犯事業の概要と今後の課題

1 防犯コミュニティ事業	12
2 防犯啓発事業	13
3 振り込め詐欺被害防止対策	13
4 東入間防犯・暴力排除推進協議会の取り組み	
(1) 東入間防犯・暴力排除推進大会	14
(2) 防犯・暴力排除年末街頭キャンペーン	14

III ふじみ野市防犯推進計画（令和5年度）について

1 防犯意識の普及・向上	15
2 防犯体制の整備・充実	17

ふじみ野市防犯白書（ふじみ野市防犯推進計画）

ふじみ野市防犯推進条例第4条に定める計画として、本防犯白書を策定します。

I 犯罪動向と自主防犯活動

1 全国及び県内の犯罪動向

全国の令和4年の刑法犯認知件数は、60万1,389件(前年比+3万3,285件)で、20年ぶりに増加に転じました。

埼玉県においては、平成16年の18万1,350件をピークに年々減少を維持していましたが、令和4年は、4万1,983件(前年比+1,817件)で、18年ぶりに増加に転じました。罪種別に見ますと、侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すりと言った窃盗犯が増加しており、身近な犯罪である、自転車盗が全体の約25%を占めています。

刑法犯認知件数が増加した要因は、新型コロナウイルス対策の行動制限の緩和が影響したと考えられ、厳しい治安情勢にあります。

2 ふじみ野市の犯罪動向

本市の刑法犯認知件数は、平成17年の2,451件がピークで、令和4年には625件(前年比-25件)であり、減少傾向を維持しています。

犯罪率(人口1,000人あたりの刑法犯認知数)で見ますと、5.5件で県下平均の5.7件を下回り、72市区町村別の順位では26位となっています。

また、本市では、オートバイ盗や部品ねらいなど一部の街頭犯罪が増加傾向にあり、自転車盗については136件(前年比+13件)と増加しており高水準になっています。

ふじみ野市の年別罪種別犯罪認知件数（平成17年ピーク時との比較）

罪種	平成17年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	17年/4年比
全刑法犯	2,451件	930件	908件	935件	744件	651件	650件	625件	▲1,826件
街頭犯罪	1,177件	408件	414件	356件	290件	222件	178件	185件	▲992件
路上強盗	4件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	▲4件
ひったくり	54件	0件	5件	4件	8件	1件	8件	0件	▲54件
自動車盗	80件	4件	3件	4件	5件	4件	2件	1件	▲79件
車上ねらい	271件	52件	44件	40件	31件	28件	32件	23件	▲248件
オートバイ盗	89件	18件	19件	10件	11件	16件	7件	9件	▲80件
自転車盗	642件	312件	302件	277件	215件	160件	123件	136件	▲506件
自動販売機ねらい	37件	6件	8件	3件	12件	2件	0件	0件	▲37件
部品ねらい		16件	33件	18件	7件	11件	6件	16件	
侵入窃盗	184件	23件	28件	47件	33件	14件	69件	15件	▲169件

※ 街頭犯罪とは、路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらいをいう。(部品ねらいは、平成19年から街頭犯罪に加わる)

令和4年 市区町村別刑法犯認知件数・犯罪率(埼玉県)

順位	市区町名	犯罪率	刑法犯認知件数	推計人口
1	越生町	10.8	117件	10,840人
2	さいたま市大宮区	10	1,211件	121,538人
3	八潮市	9.0	841件	93,010人
4	蕨市	8.1	599件	73,909人
5	草加市	7.6	1,892件	248,747人
6	羽生市	7.3	381件	52,450人
7	越谷市	7.2	2,444件	341,134人
8	戸田市	7.1	1,006件	141,357人
9	三郷市	7.0	1,000件	142,078人
10	富士見市	6.9	774件	112,575人
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜				
26	ふじみ野市	5.5	625件	113,121人
27	蓮田市	5.5	337件	61,383人
28	久喜市	5.5	818件	149,101人
29	さいたま市桜区	5.5	541件	98,650人
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜				
—	県下平均	5.7	—	—

※人口は、4月1日の推計人口

※犯罪率：人口1,000人あたりの刑法犯認知件数

令和4年 南西部地区(市村別)認知件数・犯罪率

順位	市町村	犯罪率	刑法犯認知件数	推計人口
1	富士見市	6.9	774件	112,575人
2	ふじみ野市	5.5	625件	113,121人
3	三芳町	5.3	203件	38,109人
4	新座市	5.3	874件	165,541人
5	和光市	4.7	392件	82,994人
6	朝霞市	4.6	653件	142,009人
7	志木市	4.3	327件	75,250人
南西部平均		5.2		
県下平均		5.7		

3 ふじみ野市の罪種別の犯罪動向

(1) 部品ねらい発生状況

ふじみ野市では、令和4年中、部品ねらい被害が16件発生し、令和3年に比べ、10件増加しています。

この部品ねらい被害の多くが、電動自転車のバッテリーを盗まれるという被害です。

帰宅後は、バッテリーを室内で保管することや、電動自転車使用時にはバッテリーにワイヤーロックを掛けるなどの防犯対策が必要です。

(2) 自転車盗発生状況

全刑法犯認知件数の多くを占める自転車盗被害は、その地域での犯罪バロメータといわれています。

そのため、自転車盗被害の防止対策をすることが全体の治安向上に繋がっていきます。

これまで、埼玉県内の全刑法犯認知件数が減少したのは、この自転車盗被害の減少が大きな要因の一つと言えます。

下表は、令和4年の県内の自転車盗の被害件数が多い市町村をまとめたものです。

ふじみ野市では、自転車盗被害防止を呼び掛ける活動を続け、平成17年に642件の被害がありましたが、令和4年には136件まで減少しました。

しかし、令和3年と比べると13件増加しており、市内の全刑法犯中の自転車盗被害が占める割合は約2割と罪種別では、最も高い水準であり、自転車盗被害を減少させることが課題となります。

令和4年 自転車盗の件数が多い市区町村(埼玉県)

順位	市町村名	自転車盗難件数	全刑法犯	犯罪率
1	川口市	1,205件	3,815件	6.4
2	越谷市	724件	2,444件	7.2
3	草加市	554件	1,892件	7.6
4	川越市	524件	2,152件	6.1
5	春日部市	438件	1,475件	6.5
6	所沢市	410件	1,656件	4.8
～	～	～	～	～
27	ふじみ野市	136件	625件	5.5

※表は、令和4年中の確定値

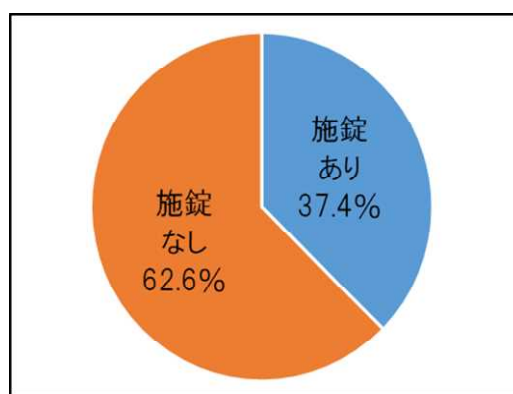
令和3年 自転車盗の件数が多い地域(ふじみ野市)

順位	町丁名	自転車盗件数	施錠あり	施錠なし
1	上福岡一丁目	21件	8件	13件
2	ふじみ野一丁目	14件	4件	10件
3	うれし野二丁目	9件	2件	7件
4	霞ヶ丘一丁目	8件	7件	1件
5	上福岡五丁目	5件	3件	2件
—	市内合計	123件	46件	77件

※表は、令和3年中の確定値

令和3年 自転車盗の施錠の有無(ふじみ野市)

また、令和3年の自転車盗の被害状況を見ると、上の表のとおり駅周辺地域での被害が多く、被害の態様では、123件中77件(全体の約63%)が無施錠で被害に遭っていることから、鍵かけによる被害防止の周知徹底を図っていきます。



(3) 振り込み詐欺発生状況

全国のオレオレ詐欺や還付金詐欺などの振り込み詐欺の発生状況は、

令和元年 1万6,851件(被害総額約315億8,000万円)

令和2年 1万3,550件(被害総額約285億2,000万円)

令和3年 1万4,498件(被害総額約282億)

令和4年 1万7,520件(被害総額約361億4,000万円) ※暫定値

であり、令和4年は、前年に比べ被害件数及び被害総額が増加に転じており、被害総額については8年ぶりに増加という、深刻な情勢となっています。

被害は大都市圏に集中しており、東京、神奈川、大阪、千葉、埼玉、兵庫、愛知の7都府県で、被害件数全体の約7割を占めている状況です。

令和4年の埼玉県内の振り込み詐欺被害は、被害件数1,387件(前年比+305件)、被害総額約28億1,102万円(キャッシュカードによって不正に引き出された額を含む)の被害が発生しました。

手口としては、息子や親族などを名乗り、「カバンを置き忘れた。小切手が入っていた。お金が必要だ。」などと言って現金をだまし取るオレオレ詐欺が最も多く、被害全体のうち555件(前年比+132件)と増加しています。

また、自治体職員を名乗り、還付金があると言葉巧みに無人ATMに誘導して、現金を振り込ませる還付金詐欺が、252件(前年比+8件)と増加しているほか、警察官や銀行協会職員などを名乗り、「あなたのキャッシュカードが悪用されている。キャッシュカードを交換する必

要がある。」などと言って犯人があらかじめ用意した封筒にキャッシュカードや暗証番号を書いたメモを入れさせて、さらに「封印するので印鑑を持ってきてください。」などと言って目を離したときに別のカードなどが入った封筒とをすり替えて盗み取るキャッシュカード詐欺盗が 240 件（前年比+76 件）と増加しており、年々手口が多様化、複雑化しています。

令和 4 年 振り込め詐欺発生件数(埼玉県)

順位	市区町村	被害件数	被害総額	順位	市区町村	被害件数	被害総額
1	川口市	95件	2億1,129万円	38	加須市	14件	2,539万円
2	越谷市	86件	1億5,633万円	39	飯能市	12件	3,255万円
3	さいたま市浦和区	58件	1億5,091万円	40	深谷市	12件	3,055万円
4	狭山市	55件	9,877万円	41	吉川市	12件	1,855万円
5	入間市	52件	1億6,703万円	42	鴻巣市	11件	1,721万円
6	所沢市	48件	8,074万円	43	東松山市	11件	1,269万円
7	さいたま市南区	45件	9,757万円	44	さいたま市見沼区	11件	1,228万円
8	上尾市	45件	7,239万円	45	羽生市	10件	2,826万円
9	春日部市	39件	8,132万円	46	三芳町	9件	805万円
10	三郷市	38件	9,218万円	47	行田市	7件	1,087万円
11	川越市	38件	8,883万円	48	日高市	6件	3,303万円
12	草加市	38件	4,329万円	49	嵐山町	6件	1,809万円
13	新座市	37件	7,161万円	50	寄居町	6件	1,597万円
14	朝霞市	36件	5,878万円	51	白岡市	6件	710万円
15	久喜市	35件	6,269万円	52	松伏町	5件	1,157万円
16	富士見市	33件	4,946万円	53	杉戸町	5件	1,070万円
17	蓮田市	32件	4,439万円	54	小川町	5件	1,048万円
18	さいたま市岩槻区	31件	1億49万円	55	秩父市	5件	392万円
19	志木市	26件	4,602万円	56	伊奈町	5件	221万円
20	戸田市	25件	3,744万円	57	川島町	3件	650万円
21	和光市	23件	3,069万円	58	小鹿野町	3件	240万円
22	ふじみ野市	23件	2,782万円	59	吉見町	2件	250万円
23	熊谷市	22件	4,616万円	60	毛呂山町	2件	229万円
24	さいたま市西区	22件	3,078万円	61	美里町	1件	1,200万円
25	さいたま市桜区	21件	7,142万円	62	越生町	1件	605万円
26	さいたま市大宮区	21件	4,850万円	63	鳩山町	1件	480万円
27	さいたま市緑区	21件	2,937万円	64	滑川町	1件	250万円
28	八潮市	19件	4,562万円	65	神川町	1件	150万円
29	桶川市	19件	3,273万円	65	宮代町	1件	150万円
30	幸手市	18件	7,597万円	67	ときがわ町	1件	100万円
31	さいたま市北区	18件	3,442万円	68	上里町	0件	0万円
32	さいたま市中央区	18件	1,957万円	69	長瀨町	0件	0万円
33	北本市	15件	3,550万円	70	東秩父村	0件	0万円
34	蕨市	15件	3,022万円	71	皆野町	0件	0万円
35	鶴ヶ島市	15件	2,217万円	72	横瀬町	0件	0万円
36	坂戸市	15件	1,542万円		県外	1件	0万円
37	本庄市	14件	5,038万円		合計	1,387件	28億1,102万円

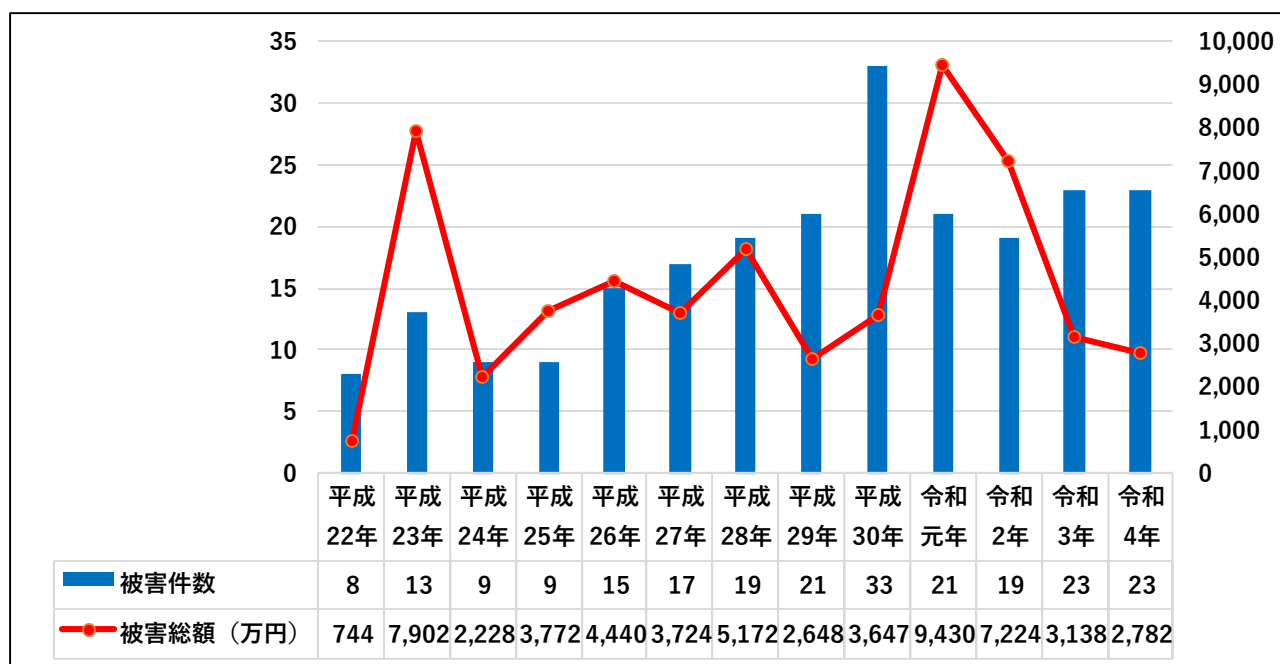
※ 被害件数、被害総額は暫定値

※ 被害総額は、キャッシュカード引出額を含む

令和 4 年のふじみ野市内での振り込め詐欺発生状況は、被害件数 23 件(前年比±0 件)、被害総額約 2,782 万円(前年比-約 356 万円)であり、被害件数は前年と同数で、被害総額

は前年を下回ったものの、72 市区町村別の順位では 22 位と、未だ高水準を推移しており深刻な状況が続いています。

振り込め詐欺発生件数(ふじみ野市)



被害現状については、息子や孫などの親族を名乗ったオレオレ詐欺による被害が 23 件中 9 件と最も多く、次いで、市役所職員を名乗り、医療費の還付金名目でATMを操作させて現金を振り込ませる還付金詐欺が 5 件発生しました。

また、警察官や金融機関職員を名乗り、キャッシュカードをだまし取る預貯金詐欺が 4 件発生し、キャッシュカードをすり替えて盗むキャッシュカード詐欺盗も 4 件発生するなど、従来の現金を振り込ませるだけでなく、現金やキャッシュカードを手交する手口での被害が多発しています。

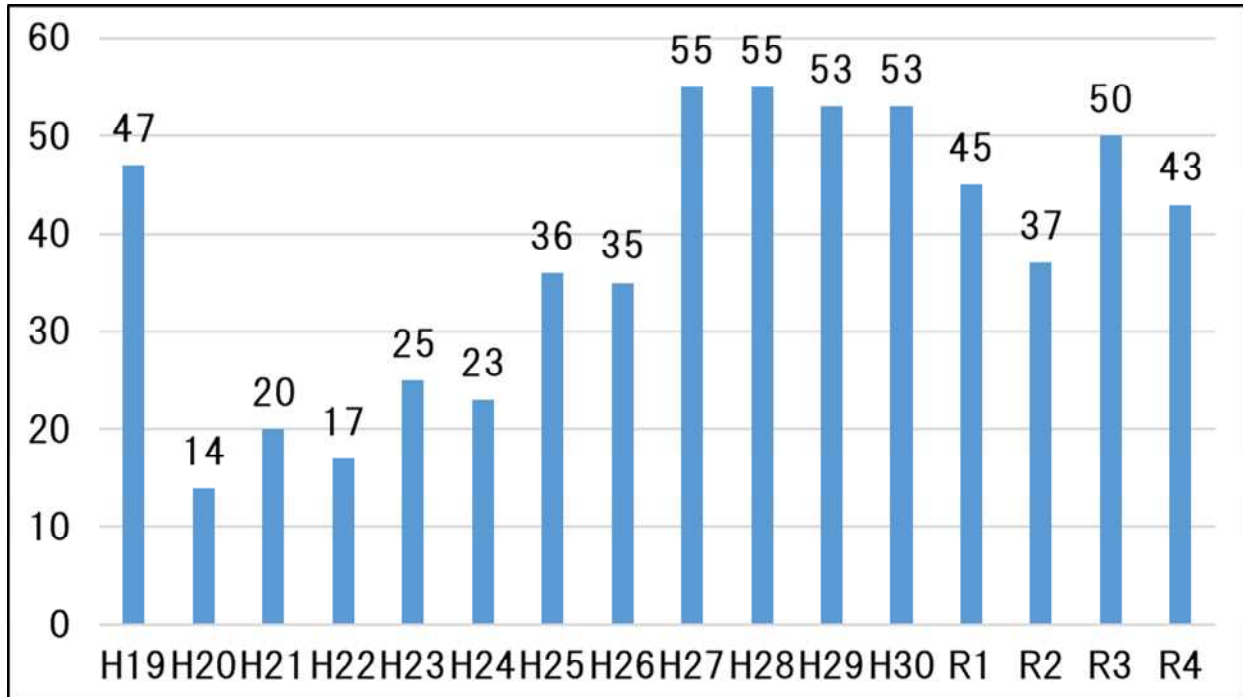
また、犯人からの予兆電話(警察へ通報のあった件数)は 205 件(前年比+50 件)と増加しており、犯行手口の複雑・巧妙化が被害拡大に影響しているものと考えられます。

令和 4 年 振り込め詐欺手口別件数(ふじみ野市)

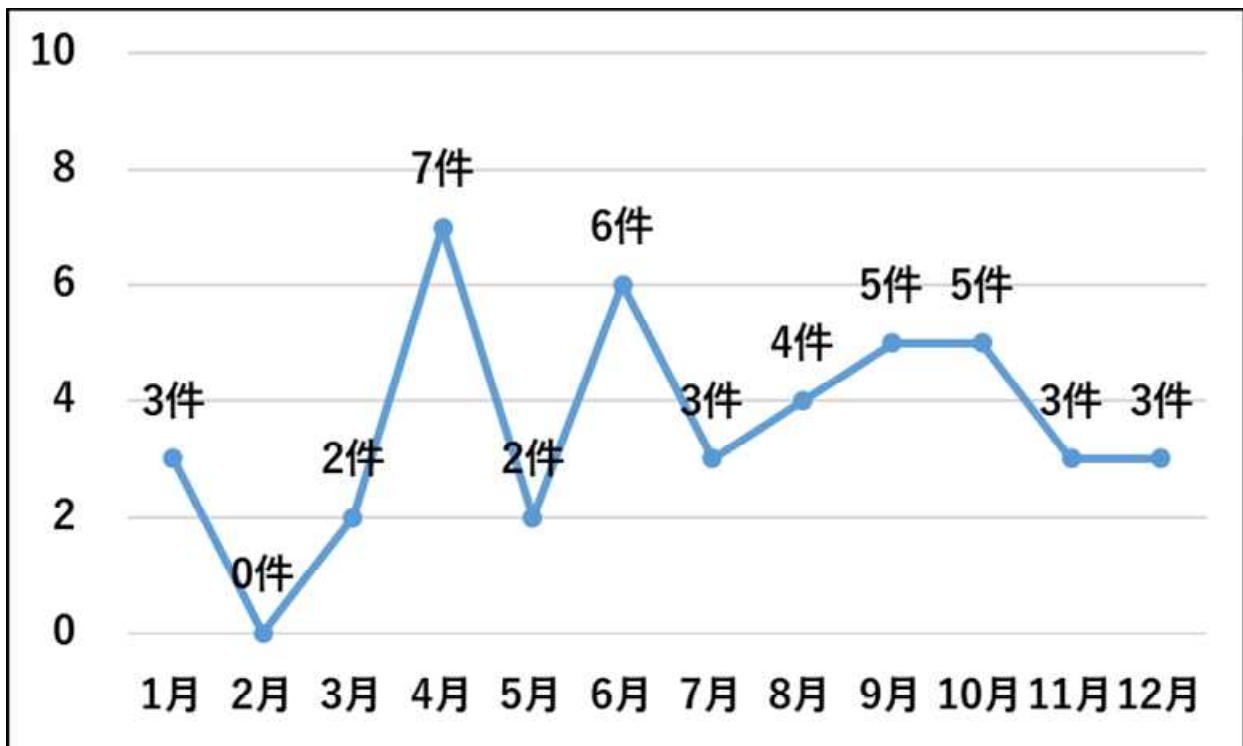
手口	件数	被害金額
オレオレ詐欺	9 件	約 1,135 万円
預貯金詐欺	4 件	約 421 万円
架空請求詐欺	1 件	約 90 万円
還付金詐欺	5 件	約 796 万円
融資保証詐欺	0 件	0 円
キャッシュカード詐欺盗	4 件	約 340 万円
合計	23 件	約 2,782 万円

※表は、令和 4 年中の暫定値

声かけ事案認知件数(ふじみ野市)



令和4年 声かけ事案月別認知状況(ふじみ野市)



【事案形態】

令和4年中の埼玉県内での事案傾向として、「お菓子をあげる。」「〇〇はどこにある。」等の甘言・詐言により、声を直接かける行為が全体の約37%でした。

また、子供の後を追従する行為が全体の約19%、スマートフォンなどを使用して子供の姿を撮影する行為も全体の約18%でした。

ふじみ野市においても、子供に対して声を直接かける行為のほか、追従する事案が発生し

ています。

【発生状況】

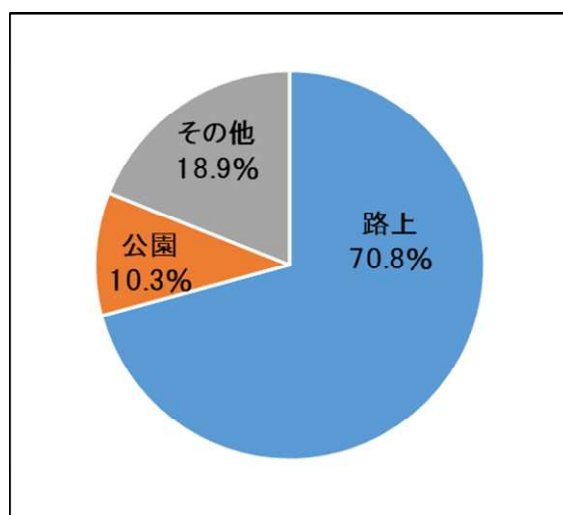
埼玉県内では、声かけ事案の約5割が15～17時の下校・帰宅時間帯に集中しており、次いで7～8時の通学時間や18時以降の塾からの帰宅時間などに発生が確認されています。

発生場所では、路上での発生が70.8%、公園内での発生が10.3%となっています。

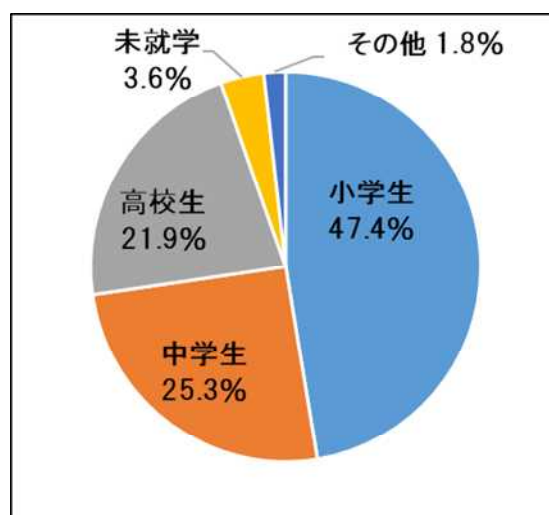
また、行為を受けた子供については、小学生が47.4%と最も多くなっています。

ふじみ野市でも登校・下校時間に声かけ事案が多く発生している状況が確認されています。

発生場所(埼玉県内)



被行為者の学職(埼玉県内)



【不審者への対応】

被害児童が不審者に出合った際の対応として最も多いのが「走って逃げる」で、次いで「無視する」、「子ども110番の家に避難する」ことにより被害を回避しています。

また、「無視する」「きっぱり断る」などの防犯行動が増加しています。

不審者が強行手段に出た際には、児童の力では防ぐことができないことから、児童に対して周りの大人に助けを求めることができるよう繰り返し指導していくことが必要です。

具体的には、市内幼稚園における親子防犯教室での児童に対する対応方法の指導のほか、市内小・中学校での校区内防犯会議において、児童への指導方策や犯罪情報の提供、地域との情報交換等の情報共有を図ることで児童を助ける側である大人が効果的な見守り活動が実施できるよう取り組んでいます。

4 自主防犯活動の状況

(1) 全国と県内の自主防犯活動団体数

全国における自主防犯活動を行う団体数は、令和4年末現在45,106団体あります。

その内、青色回転灯装着車両による防犯パトロール団体は、全国で9,672団体あり、青色パトカーは42,662台が全国で活動しております。

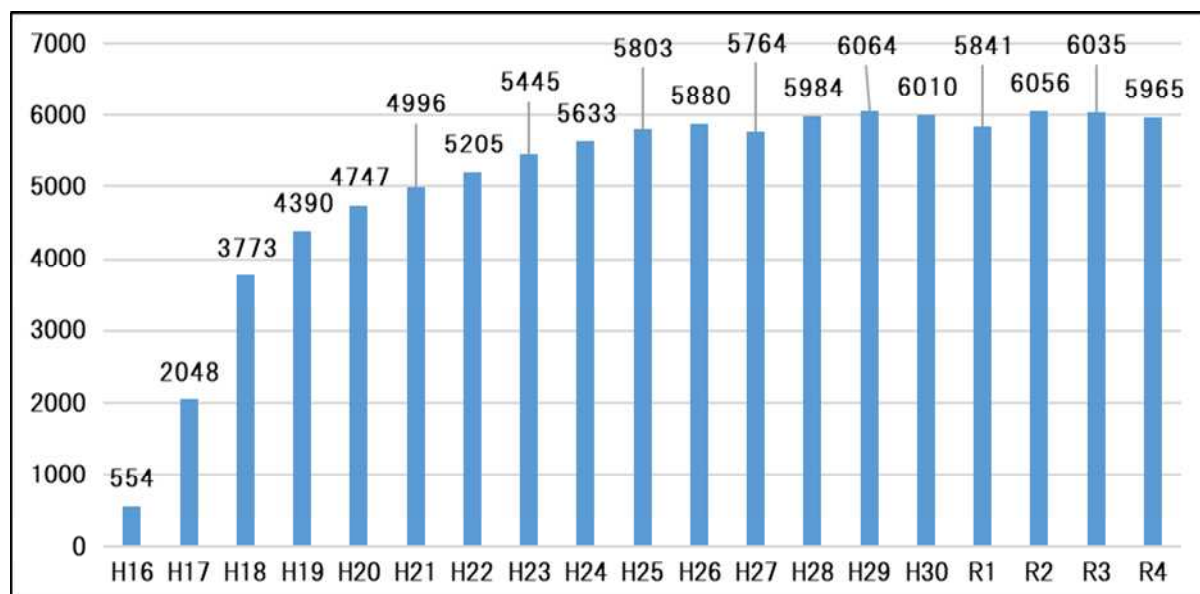
埼玉県内の自主防犯団体の件数は、令和4年末現在5,965団体あり、全国でも最も多い団体数となっています。

また、青色回転灯装備車両による防犯パトロール団体は、273 団体で、762 台の青色防犯パトカーが県内のパトロールを実施しており、埼玉県や埼玉県警察がその活動の支援をしています。

ふじみ野市内では、自主防犯活動団体の尽力により、犯罪件数は年々減少し、治安向上に努めていますが、一方で犯罪件数の減少が防犯意識を低下させ、少子高齢化や都市化の進展により地域への無関心、不干渉を生み出し、自主防犯活動に参加する市民が固定化し、より活発な自主防犯活動が困難な状態となってきました。

市内人口は増加し、若い世代の流入も見込まれることから、市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、治安の維持・向上を推進するためにも新たな自主防犯体制を作っていく必要があります。

埼玉県内の自主防犯団体数の推移状況



(2) ふじみ野市の自主防犯団体

ふじみ野市防犯推進会議の登録団体は、令和4年末現在161団体あり、各団体が防犯パトロールや防犯啓発活動など、地域の力で犯罪を抑止することに貢献をいただいております。

また、市内には、青色防犯パトロールカーによる防犯活動を行う団体「ふじみ野市青色防犯パトカー市民パトロール隊」、「ふくおか防犯パトロール」の2団体があり、定期的な運用を行っています。

両団体とも隊員を募集しており、今後、市内の防犯活動の中心になるように団体の拡大を図っていきます。



(3) 自主防犯団体活動について

自主防犯団体の活動については、各団体が自主的に実施しており、

児童登下校時の見守り活動

夕方や夜間の防犯パトロール

防犯のぼり旗やポスターの掲出

防犯キャンペーンへの参加

防犯会議や防犯講習会の開催

犯罪情報の周知、広報

など、さまざまな活動を実施しています。

令和4年中は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、行政、警察、自主防犯団体が協力して駅頭における防犯キャンペーンを開催するなどの防犯活動を実施しました。

各団体が自分達にできる活動をしていただくことが、自分の住む町を自分で守る意識につながっていき、犯罪件数の減少は、こうした自主防犯団体の地道な活動の成果であることは間違いありません。



2 防犯啓発事業

	令和4年度の概要
防犯キャンペーン	<p>○ふじみ野市防犯推進期間中の10月18日(火)に、上福岡駅周辺において60団体128名に参加いただき、駅頭防犯キャンペーン実施。</p> <p>○年末の犯罪抑止と暴力団追放を目的に12月22日(木)に、上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺において76団体149名に参加いただき、東入間防犯・暴力排除年末街頭キャンペーンを実施。</p> <p>○東入間警察署等と連携したミニキャンペーンを11回実施し、自転車盗難、振り込め詐欺被害防止に関するチラシや啓発品を市民に配布して注意を呼び掛けた。</p>
親子防犯教室	<p>○市内幼稚園6園で、年長児(新一年生となる児童)300名とその保護者を対象に埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」の協力を得て親子防犯教室の開催。</p> <p>○新一年生となる年長児に対して、「守ろう約束」の下敷きと防犯ぬり絵を配布。</p>
防犯講話 (出前講座)	市内の自治組織や地域団体などに対する出前講座等を、年間15回(合計参加人数293名)実施。
青色防犯パトカー パトロール	市民青パト隊員による市内防犯パトロールを午前10時からと午後2時からに分けて実施。(年間290回実施、延べ走行距離5,999kmのパトロール)

○ 今後の課題

治安改善の一方で、地域の防犯意識が低下しないように、継続した防犯意識啓発が必要となります。

また、新しく転入してきた方を含めて、地域の皆さんに防犯体制について理解、協力していただく必要があります。

3 振り込め詐欺被害防止対策

市内でも後を絶たない振り込め詐欺被害の防止を図るため、市民に対する注意喚起や手口の周知のほか、振り込め詐欺対策機器等購入費の補助制度を実施するなど幅広い取り組みをしています。

	令和4年度の概要
高齢者に向けた 防犯意識啓発	電話機等に設置して視覚的に注意喚起する目的で使用する「振り込め詐欺被害防止ポップアップフィルム」を作成し、市内在住の65歳以上に配布し、注意喚起と防犯意識啓発を図った。
警察、金融機関等との 連携	東入間警察署と合同による振り込め詐欺被害防止ミニキャンペーンを実施したほか、市内金融機関やコンビニエンスストア等と連携を図り、無人ATMに「振り込め詐欺被害防止ポップアップフィルム」を設置し、利用者への注意喚起と防犯意識啓発を図った。

振込め詐欺対策機器 購入費補助	対策電話機の普及促進により、被害防止を図るため、購入費補助を引き続き実施。(補助金交付件数 142 件) ○対象:市内在住の 65 歳以上の方 ○補助金額:購入金額の 2 分の 1(上限 5,000 円)
振込め詐欺対策機器 体験展示	6 月 27 日(月)~7 月 1 日(金)、大井総合支所1階展示スペースにおいて、振り込め詐欺被害防止の注意喚起と対策機器の普及促進のため、振り込め詐欺被害発生状況や防犯対策等の資料と共に対策機器の体験展示会を実施した。

○ 今後の課題

年々手口が巧妙かつ複雑化している中、警察や関係機関と連携した注意喚起の他、手口や予兆状況のタイムリーな情報発信を実施するとともに、対策機器のさらなる普及促進を図る必要があります。

4 東入間防犯・暴力排除推進協議会の取り組み

東入間警察署管内の防犯・暴力排除を推進するために、ふじみ野市は、東入間警察署・富士見市・三芳町とともに東入間防犯・暴力排除推進協議会を組織し、連携した活動に取り組んでいます。

(1) 東入間防犯・暴力排除推進大会

令和 4 年度は、11 月 1 日(火)に富士見市で開催し、埼玉県警察音楽隊による演奏会のほか、2市1町の防犯・暴力排除への功労団体・個人への表彰を行い防犯意識高揚を図りました。

(2) 防犯・暴力排除年末街頭キャンペーン

12 月 22 日(木)に、上福岡駅周辺などで東入間警察署員、2 市 1 町防犯担当課職員、会員団体が参加して防犯・暴力排除チラシや啓発品を配布する街頭キャンペーン活動を行いました。

○ 今後の課題

東入間防犯・暴力排除推進協議会の加盟団体についても、少子高齢化や都市化が進む中で、地域社会の一体感や連帯感が希薄となり、地域活動離れなどが問題になっています。

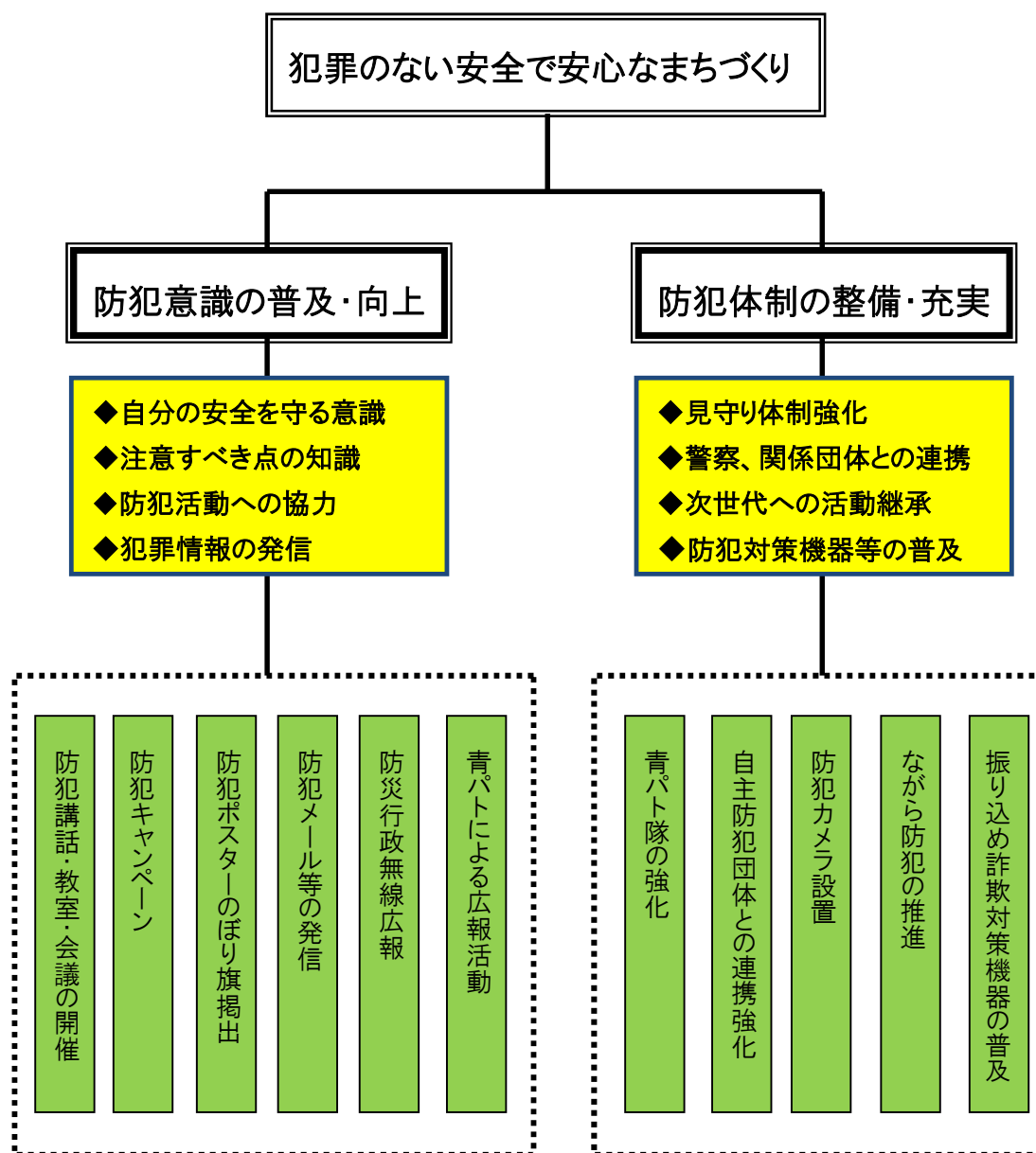
地域の皆さんに、防犯・暴力排除の推進には市や警察だけでなく、住民や地元事業所・企業が一体となって取り組むことが不可欠であることを理解していただき、地域活動への参加を促すとともに、地元事業所・企業との連携を図り、活動の拡大を進めることが必要となります。

Ⅲ ふじみ野市防犯推進計画(令和5年度)について

令和5年度は、防犯講話等のほか防犯キャンペーンを開催するとともに、迅速な情報共有及びタイムリーな情報発信により、市民一人ひとりの防犯意識の普及・向上を図ります。

また、警察や関係団体との連携強化と次世代の防犯活動への参加を促し、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図ります。

これにより、「犯罪件数の減少」、「児童の安全確保」、「振り込め詐欺被害防止」を実現させ、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」を目指します。



1 防犯意識の普及・向上

市内では様々な犯罪が発生していますが、無施錠状態での自転車盗被害やひったくり、車上ねらい被害、侵入窃盗被害など、注意をすれば防げたかもしれない被害もあります。

このような被害を1件でも減らすため、市民の一人ひとりが防犯意識を持ち、注意することで被害を未然に防ぐようにしていただきたいと考えています。

一度、被害に遭えば、嫌な思いや経済的な被害もすべて、自分自身が受けることになります。

「自分・家族の安全は自分たちで守る」

という気持ちを持っていただくために、防犯意識の啓発活動を行っていきます。

その対策として、以下の対策を実施していきますので、多くの市民の方に防犯意識・防犯知識を広めるため、御協力をお願いします。

	令和5年度計画
防犯講話	犯罪の発生状況や対策について、新しい情報を提供し、一人ひとりが被害に遭わないように注意し、地域に広めていただけるよう、地域向けの犯罪被害防止講話、高齢者向けの振り込め詐欺被害防止講話、児童向けの不審者への注意喚起講話を行う。 自治組織だけでなく、市内事業者等への防犯講話も増やしていく。
親子防犯教室	市内幼稚園で年長児(新一年生となる児童)とその保護者を対象に講習会を実施し、園児と保護者に対し、防犯意識を広めていく。 園児に防犯意識を持たせ、危険を回避する行動を幼いうちから学んでいただく。 また、保護者にも学んでいただき、園児の指導・見守りを実施していく。
校区内防犯会議	学校区ごとに、児童への声かけ事例や地域に応じた被害防止対策を検討して、見守り活動を行う方に、児童の見守りをする上での注意点などを学んでいただく。 また、見守り活動をする方から児童に対し、被害防止のための指導を日常の生活の中で伝えていただく。
防犯キャンペーン	警察や自主防犯団体と協力し、駅や大型商業施設等でのキャンペーンを実施して広く、防犯意識の啓発を行う。 特に現役世代で、地域との接点が少ない方にも、防犯活動を理解してもらうために駅頭でのキャンペーンを実施していく。 また、新規開店した店舗などに対して、積極的に防犯キャンペーン実施の協力を依頼していく。
防犯ポスターのぼり旗の掲出	市民が犯罪被害にあわないよう注意を促すとともに、犯罪企図者の犯行を思いとどまらせることを目的に、防犯啓発ポスターやのぼり旗を公共施設、店舗などに数多く掲出していく。 また、古くなったポスターや、破れたのぼり旗を放置することは、地域の防犯への関心の薄さを表し、犯罪増加の要因になるため、管理者へ早期交換を依頼していく。

また、市民からの要望として、犯罪発生情報の提供という声は多く聞かれます。

特に重要・凶悪事案などが近所で発生した際には、いち早く情報を知り、防犯対策を行いたいたいはずです。

これまで、可能な限りの情報を、様々な手段で広報してきましたが、今後もその対策を継続・拡大していきたいと考えています。

まずは、メールやテレビのデータ放送などで犯罪情報を発信しています。

インターネットの情報伝達は、短時間に多くの人に情報を伝達する上で、かなり有効な手段であります。

しかしながら、ネット環境のない人や、機器の操作が苦手な方など、全ての方に伝えるのは難しい状況です。

そのため、防災行政無線や青パトによる広報なども併せて行っていきます。

防災行政無線や青パト広報は、その場にいる多くの人に、情報を伝達できますが、室内や、場所によっては、聞こえにくく、聞き逃した際には内容を確認できない事もあります。

ふじみ野市では、メールや防災行政無線などを組み合わせ、情報発信を実施していますので、様々なツールで情報を確実に入手することを心掛け、家族や、近所の方にも伝達するようにお願いします。

	令和 5 年度計画
メール、SNS 発信	FメールやSNS(ツイッター、フェイスブック)を活用し、犯罪情報提供の拡大、登録者増加を目指す。
テレビ データ放送	テレビ会社のデータ放送で、市町村ごとの各種情報を流していることから、犯罪情報を放送し、注意喚起を促す。 ※ データ更新の時間が決められているため、情報発信の時間が遅れることがある。
防災行政無線 広報	市・警察・自治組織連合会の三者協定に基づき、重要犯罪発生時には、即時に情報発信を行える体制づくりにより、事案発生時には、迅速な情報発信に努める。 市内における振り込め詐欺予兆電話確認時には積極的な情報発信に努める。
青色防犯パト ロールカーによる 広報	振り込め詐欺予兆電話、子供に対する声かけ事案等把握時には、青色防犯パトロールカーで特定の地域を走りながら広報することが有効となるため、東入間警察署と情報共有を図り、タイムリーな状況把握をすることで発生状況に応じた青色防犯パトロールカーの運行を実施する。

2 防犯体制の整備・充実

まちの構造やコミュニティと関係した犯罪を「機会犯罪」といいます。

「犯罪企図者」と「犯罪被害の対象(被害者・被害品)」と「犯罪を行いやすい環境」が揃うと犯罪が発生するというもので、3つの条件の1つでも欠ければ、犯罪は発生しないというものです。

「犯罪を行いやすい環境」を取り除くためには、以下の2つの取り組みが必要と考えます。

1つ目は、「防犯パトロール」などによる地域の見守り体制を強化することで、「犯罪を行いやすい環境」をなくし、「お互いが支えあう地域社会」という意識を地域で広め、地域全体で取り組んでいく必要があります。

2つ目は「割れ窓理論」などにもあるように、小さなほころびや秩序違反行為が野放しにされると軽犯罪が多発し、やがて凶悪な犯罪が発生することから、市民の注意力やモラルを維持するための環境整備により、「犯罪を行いやすい環境」をなくしていきます。

	令和 5 年度計画
青色防犯パト ロールの強化	市民ボランティアであるふじみ野市青色防犯パトカー市民パトロール隊の隊員増員と装備の充実を図り、パトロール体制の充実・強化を図る。また、青色防犯パトロール乗車講習会により、隊員一人ひとりの能力向上を図る。

<p>自主防犯団体の強化</p>	<p>ふじみ野市防犯推進会議登録団体の拡大を図り、各団体の防犯リーダーに対する講習も継続して実施することで自主防犯団体の活動強化を図る。</p> <p>○講習会開催日：令和5年9月2日(土)実施予定</p>
<p>関係機関防犯団体の連携強化</p>	<p>東入間警察署、ふじみ野市、富士見市、三芳町で構成される防犯団体である東入間防犯・暴力排除推進協議会への協力を引き続き行う。</p> <p>また、振り込め詐欺などの被害者は、金融機関や無人ATMなどに誘引される場合が多いため、警察や金融機関などとの連携強化し、利用者への注意喚起を図っていく。</p>
<p>防犯カメラ設置</p>	<p>現在、市内には防犯カメラを設置した公園が10か所あります。</p> <p>今後も犯罪の抑止を図るため、関係各課と連携し、防犯カメラの増設を検討していく。</p>
<p>わんわんパトロール</p>	<p>パトロール用品を身に着けて愛犬と散歩することで、防犯パトロールと同じ効果が望めることから、事件目撃時の通報をするなど、わんわんパトロールによる「ながら防犯」を推進していく。</p> <p>○講習会開催日：令和5年7月1日(土)実施予定</p>
<p>ウォーキングパトロール</p>	<p>パトロール用品を身に着けてウォーキングすることで、防犯パトロールと同じ効果が望めることから、事件目撃時の通報などウォーキングパトロール時の注意点を含め、安全な歩き方について専門家による講習会を実施し、「ながら防犯」を推進していく。</p> <p>○講習会開催日：令和5年9月30日(土)実施予定</p>
<p>振り込め詐欺被害防止対策</p>	<p>犯人から電話がかかってきたとき、呼出音前に自動応答して会話を録音する「振り込め詐欺対策機器」を活用することで被害を防ぐことができることから、振り込め詐欺対策機器の普及促進により、被害防止を図るため、購入費補助を引き続き実施する。</p> <p>○対象：市内在住の65歳以上の方</p> <p>○補助金額：購入金額の2分の1(上限5,000円)</p>

ふじみ野市防犯白書

(ふじみ野市防犯推進計画)

令和5年5月26日 発行

編集・発行 ふじみ野市総務部危機管理防災課

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1

TEL:049-262-9052

E-mail:bohan@city.fujimino.saitama.jp